

1 本校沿革の概要

学 校 沿 革 の 概 要					
年度	主な出来事		年度	主な出来事	
明 7	朴（ほうのき）に中須小学校開校（児童数48名）		5 5	よい歯県知事賞 日本学校歯科医会長賞	
1 2	市（いち）に新校舎ができる（児童数33名）		5 6	よい歯県教育長賞 全日本優秀賞	
1 6	山口県都濃郡第17小学区公立中須小学校		5 7	大田原分校廃校式・大田原自然の家開所式 緑の少年隊結成 全日本歯科医師会長賞	
2 0	中須尋常小学校と改称		5 9	少年消防隊宿泊訓練	
2 3	野段（のだん）大田原に分教場ができる		6 0	市花環境衛生連合会長賞	
3 0	久保に校舎新築 校舎移転（現在の位置）		6 3	ブラジルカンボ市少年団交流合宿 交通無事故5000日達成（市表彰）	
3 2	大田原分校を大田原尋常小学校ととする		平 元	周南理科教育研究発表会場	
3 3	初めて運動会を開く		2	県デザイン展最優秀学校賞 市学校教育栄光賞	
3 6	児童数282名		3	郷土史講話を聞く会 中須地区百樹巡り	
4 0	尋常科修業年限2か年 高等科に農業科設置		4	PTA研修視察 郷土学習研究発表会	
4 2	中須小学校校舎増築 手工科設置		5	学校訪問（秋芳町学校教育委員会）	
4 4	実業練習学校が付設許可 校舎増築		7	職員トイレ改修 アジア交流会	
大 2	図書館ができる（蔵書788冊）		8	宿日直廃止・機械警備（セコム）	
1 2	児童数中須小385名 大田原小104名		9	移動音楽教室 人形劇公演	
1 5	北校舎新築（二階建校舎）青年訓練所併設		1 0	宿泊訓練（光青年の家）	
昭 1 0	中須青年学校併設		1 1	もみの木伐採 AET交流会	
1 2	御真影奉安殿落成 百万一心の碑完成		1 2	お大師山植樹 高学年トイレ水洗化	
1 6	中須国民学校と改称		1 3	緑の少年隊全国交流集会 金子みすずコンサート	
2 2	中須小学校と改称（児童数366名）		1 4	講堂屋根改修 森の教室 邦楽アンサンブル	
2 5	北校舎改築（児童数406名）		1 5	東側トイレ簡易水洗式に改修 小鳥舎完成	
2 9	都濃町発足 都濃町立中須小学校と改称		1 6	創立130周年記念式典 全国野鳥保護の集い（阿知須）ホレック上演	
3 0	南校舎、旧職員室解体		1 7	豊かな森づくり県民の集い（鹿野） 第1回中須小・中合同秋季大運動会開催	
3 1	中須公民館兼中須小学校講堂、渡り廊下新築		1 8	米作りと感謝の会	
3 2	学校給食開始		1 9	須磨小他五色百人一首交流会・緑の学習	
3 7	創立88周年記念式典 校旗、校歌制定		2 0	五色百人一首交流会（本校会場）	
3 8	放送教育研究発表会開催		2 1	棚田学習 新型インフルエンザ（2度の学校閉鎖）	
4 1	徳山市立中須小学校と改称（児童数177名）		2 2	山口県学校ホームページ優秀校 菅野湖カヌー体験	
4 2	大田原小学校統合 大田原分校併設				
4 4	小中学校用水打ち抜き井戸ポンプ室完成				
4 6	大田原分校休校				
4 9	開校百周年記念式典 全日本よい歯学校賞				
5 4	よい歯日本学校歯科医会長賞				

児童数の推移

年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
男子	8	6	8	9	10	8	6
女子	13	14	11	10	8	4	2
計	21	20	19	19	18	12	8
学級	3	3	3	3	3	3	3

教職員

校長	國居	教頭	田村
1・2年担任	研修主任		木田
3・4年担任	生徒指導主任		重國
5・6年担任	教務主任		芦谷
養護・保健主任	三島	主事	青木
非常勤講師	日柳	給食調理員	高橋

三

たのしい
夢はばたく
中須小学校
香るほまれを
うけついで
花の園
めぐみゆたかの
わが里よ
こがねのみのり
まうつるに

おおい
中須小学校
まこともえたつ
強い子ら
日ごとたゆまず
はげみあい

二

みどりのしずく
森くぐり
流れたたえて
わく力

かがやく
中須小学校
歌う明る
学びやよ

一

心一つに
むつみつつ

あおぐ平和の
雲光る
むらさきけむる
山なみに
森 田中俊資
豊幸 作詞
作曲

中須小学校
校歌

2 校区の概要

中須地区は周南市の中心市街地から20km北東に位置し、旧周東町、旧美川町と境を接する標高300mの中山間盆地にある。地域の産業は農業であるが、急傾斜地が多く、山間棚田の条件のため生産性は低く、他の中山間地域同様、過疎化高齢化が進む状況にある。山、川、田んぼという里山特有の条件のため、地区内には多様な動植物が見られ、野生動物も多い。すり鉢状の棚田では生産と自然の調和した美しい景観が見られる。特に秋には一帯で「はぜかけ」が行われ、昔ながらの稲刈り風景が見られる。地域内には、有形無形の歴史的文化財や史跡が多く残り、古来、敬老と教育尊重の強い地である。学校教育への期待も大きい、近年急激な児童減少が深刻な問題となっている。

5 本校の児童の実態

(1) 児童数・家庭数（平成23年4月8日現在）

学年	児童数（人）			家庭数（戸）
	男子	女子	合計	
1年	1	0	1	1
2年	0	0	0	0
3年	1	1	2	1
4年	1	1	2	1
5年	2	0	2	2
6年	1	0	1	1
合計	6	2	8	6

(2) 児童の一般的な傾向

<学校生活全般において>

- ・素直で、与えられた課題に対して、まじめに取り組む。
- ・友達の良いところを認め合いながら、協力して生活することができる。
- ・「もっとこうしたい。こうなりたい。」といった向上心を伸ばすことは、課題である。

<学習面において>

- ・落ち着いて、学習に取り組んでいる。
- ・時間いっぱい課題に取り組むことができる。
- ・相手の発表に耳を澄ませ、受け止めた上で、相手に自分の考えを伝えていこうとする表現力を高めていくことは課題である。